

平成 19 年 11 月 30 日
日本政策投資銀行
株式会社東邦銀行
商工組合中央金庫

株式会社八幡屋に対するシンジケート・ローンの組成について

1. 日本政策投資銀行（総裁：室伏稔）、東邦銀行（頭取：北村清士）及び商工組合中央金庫（理事長：江崎格）は、このたび、福島県を代表する観光旅館、(株)八幡屋（所在地：福島県石川郡石川町、代表取締役：渡邊忠栄）に対するシンジケート・ローンを組成いたしました。なお、同種のファイナンスとしては、福島県において最大規模の案件となります。

<シンジケート・ローンの概要>

◆ 契 約 日	平成 19 年 11 月 26 日
◆ 実 行 日	平成 19 年 11 月 30 日
◆ 実 行 額	40 億円
◆ 期 間	15 年
◆ アレンジャー（主幹事）	日本政策投資銀行
◆ コ・アレンジャー（副幹事）	東邦銀行
◆ エージェント（参加金融機関代理人）	東邦銀行
◆ 参加金融機関	日本政策投資銀行、東邦銀行、商工組合中央金庫

2. (株)八幡屋は、福島県母畑温泉にて観光旅館「八幡屋」を営む、東北地方を代表する旅館事業者です。本件は、今後の戦略的な設備投資実行に向けた財務基盤の安定化を図るため、シンジケート・ローンによる長期資金の調達を行うこととしたものです。また、当社は、平成 16 年 11 月には、(株)産業再生機構及び銀行団の支援を受け、経営再建中であった会津芦ノ牧温泉の旅館「大川荘」について業務委託契約（スポンサー契約）を締結し、事業再生に取り組み、大川荘の経営を軌道に乗せております（平成 19 年 10 月、大川荘を 100%子会社化）。当社及び大川荘の両社は、東北トップ級の規模を有する旅館グループとして、今後とも連携して更なる事業発展が期待されます。

3. 本件は、日本政策投資銀行、東邦銀行及び商工組合中央金庫の3行が協調して、当社の事業基盤強化に向けた取組みを高く評価し、当社の今後の更なる経営基盤の安定化を促進することを目的に、シンジケート・ローンを組成するものであります。
4. 日本政策投資銀行、東邦銀行及び商工組合中央金庫は、今後も積極的にシンジケート・ローンを活用し、地域経済の発展に資する企業の多様化・高度化する資金調達ニーズに的確かつ迅速に対応することで、東北地方の地場企業及び地域経済の発展に貢献してまいります。

以上